



## 細川紙技術者協会

📍 日本

👤 鷹野 禎三 / 会長

✉ ogawa111@town.ogawa.saitama.jp

**重**要無形文化財細川紙の技術を守り、後世に永く伝えるため、昭和 42 年に細川紙技術保持者により結成されました。現在は、19 名の正会員と 3 名の準会員、5 名の研修生で活動しており、細川紙技術の保存に努めています。現在、本美濃紙・石州半紙とともにユネスコの重要無形文化遺産への登録申請を行っています。



## 株式会社 PCM 竹尾

📍 日本

👤 竹尾 綱 / 社長

🌐 <http://www.pcmtakeo.com>

✉ osanai@pcmtakeo.com

**株**式会社 PCM 竹尾は、紙の専門商社株式会社竹尾のグループ会社です。

特殊紙ならではの色合いや風合いの豊かな紙を使ったオリジナル紙製品の企画制作・販売や、企業向けの受注紙製品を制作しております。この度、明治 41 年から続く和紙専門店である山田商會を引き継ぎ、日本各地に伝わる様々な和紙を販売、またその和紙を使ったオリジナル和紙製品を制作・販売して参ります。自然の素材を生かし、その土地の風土とともに伝承されてきた和紙。それぞれに異なる深い風合いと上質な質感、また和紙ならではの機能の良さをお伝えしていきます。



## 美濃手すき和紙協同組合

📍 日本

👤 武井 柳一 / 理事長

🌐 <http://www.minowashi.or.jp>

✉ [info@minowashi.or.jp](mailto:info@minowashi.or.jp)

法人成立： 昭和 58 年 4 月 1 日

加盟組合員数：20

主な事業： 紙及び紙製品の共同販売

原材料などの共同購買

伝統的工芸品の振興事業の実施に関する事業ほか

**美**濃手すき和紙協同組合は、伝統的工芸品の美濃和紙を生産する組合員により構成されています。主な製品は長年にわたり生産されてきた障子紙を始めとして、表具用や型紙用の原紙など楮を主原料とした薄手のものから厚手の紙まで広範囲の紙を生産しています。一部三桮や雁皮などを原料とした紙製品も製造しています。様々な工法を用いることにより透かし模様を施した紙など、和紙関連の加工品の材料としての紙や、文具用の和紙製品などの生産も活発です。

美濃  
手すき  
和紙



## 石州和紙久保田

📍 日本

👤 久保田 彰 / 代表

🌐 <http://www.sekishu.jp/kubota>

✉ [kubota@sekishu.jp](mailto:kubota@sekishu.jp)

石州和紙 / 石州半紙

**石**州和紙は島根県浜田市三隅町の地域で漉かれています。原料に楮・三桮・雁皮の韌皮（じんぴ）繊維を使用し、ネリにはトロロアオイの根の粘液を使い、竹簧（たけす）や萱簧（かやす）を用いて流し漉きにより作られます。

特に石州半紙は地元産の楮を使用して漉かれ、微細で強靱で光沢感も感じられる和紙です。石州半紙技術者会が製造している「石州半紙」は国の重要無形文化財の指定を受け、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。又、石州半紙を含む石州和紙は国の伝統的工芸品の指定を受けています。

使われる人の気持ちを大切に、心を込めて漉き続けています。

石州和紙

## 小津和紙

📍 日本

👤 小西 良明 / 店長

🌐 <http://www.ozuwashi.net/>

✉ [nishimoto@ozuwashi.net](mailto:nishimoto@ozuwashi.net)

小津和紙の始まりは、今から361年前の江戸時代にさかのぼります。

小津清左衛門長弘が、伊勢松坂（現、三重県松阪市）を出て、当時江戸屈指の商業地であった大伝馬町（現在本社ビルのあるあたり）で紙店を創業したのが1653（承応2）年、彼が29歳の時でした。爾来360年余、幾多の困難と世の変遷を経て、「紙商小津」として創業時と変わらぬ場所で、現在も営業を続けております。

弊社は、和紙の販売だけにとどまらず、社内には紙漉体験工房、ギャラリー、文化教室、史料館（中央区まちかど展示館に認定）を併設しています。また、月に一度、和紙文化に関する研究会も開かれています。わが国の伝統文化である和紙を次世代に残し、伝えていきたいという弊社の強い願いから始められたものです。

 小津和紙



## Hiromi Paper, Inc.

📍 USA

👤 片山 由貴 / Director

🌐 [www.hiromipaper.com](http://www.hiromipaper.com)

✉ [yuki@hiromipaper.com](mailto:yuki@hiromipaper.com)

Hiromi Paper は、日本の和紙界と海外への橋渡しを努めてきた伝統を生かし、和紙の質へのこだわりをとことん追求し続けています。海外では主にファインアートと修復を専門とすることでマーケットを広げてきました。Hiromi Paperらしさである100種類を超える手漉き・機械漉き和紙コレクションと長年の職人さんとの関係を大切に、海外における和紙の魅力の理解を広げ、高品質でバラエティー豊富な和紙をお届けします。

HIROMI  
paper  
Inc



## The Japanese Paper Place

📍 Canada

👤 **Nancy Jacobi** / President

🌐 [www.japanesepaperplace.com](http://www.japanesepaperplace.com)

✉ [nancy@japanesepaperplace.com](mailto:nancy@japanesepaperplace.com)

The Japanese Paper Place は、カナダ、トロントで1978年に設立。海外にある日本の紙専門店として、多くの種類の紙を取り揃えています。森木ペーパーの協力を得て、日本全国の紙の産地を訪れ、現地で和紙の情報収集も行って来ました。また和紙の良さを伝えながら、芸術活動の中に和紙の可能性を見出す事をミッションとしています。世界各国で、ワークショップ、レクチャー、展覧会を開催しながら、古くから伝承されてきた和紙の素晴らしさを発信しています。

国際会議では、特に木版画に適した和紙を厳選し、希少な楮を使った紙も販売し、サンプルも展示致します。



## 株式会社森木ペーパー

📍 日本

👤 **森木 貴男** / 代表取締役

🌐 <http://morikipaper.jp>

✉ [takao@morikipaper.co.jp](mailto:takao@morikipaper.co.jp)

1925年横浜にて創業。日本全国各地でつくられる様々な手漉き和紙、機械抄き和紙及び紙製品、関連商品の総合卸として主に欧米の代理店を中心に現在約25ヶ国に輸出しています。木版画をはじめ、銅版画、リトグラフなど数多くの版画用和紙のほか、国内外の美術館や博物館などが使用する文化財保存修復用、絵画用、建築用、大規模な現代アート作品などにも私共の和紙をお使い頂いております。和紙は、産地や原料(楮、三桠、雁皮他)、製法、寸法、厚さなどにより、その用途や適性も様々です。私共は多くの職人や産地メーカーと連携しながら確かな情報と知識を持って、それぞれのユーザー様の求める最適な和紙をご提案いたします。



MORIKI PAPER



## 道刃物工業株式会社

📍 日本

👤 田中 悟 / 代表取締役

🌐 <http://www.michihamono.co.jp>

✉ [satoru@michihamono.co.jp](mailto:satoru@michihamono.co.jp)

刃物の町「播州三木市」で長年に渡り彫刻刀を製造する専門メーカーの道刃物工業株式会社です。使い込むほどに手に馴染み、手作り独特の深い味わい。プロの職人達でさえも唸る、抜群の切れ味。熟練工が一つ一つ丹精込めて作り上げた本物の彫刻刀。

刃物だけでなく木版画の創作活動に必要な道具も揃え、心を豊かにするホビークラフトを演出。

誰でも簡単に研ぎが楽しくなる「ミニハイスケアー」、本ばれんにも匹敵する高い刷り効果を実現した「創作ばれん」は日本屈指の木版画家から推奨いただいています。

MICHI HAMONO



## Paper Connection International, LLC

📍 USA / 日本

👤 Lauren Pearlman Sugita / Director

🌐 [www.paperconnection.com](http://www.paperconnection.com)

✉ [paperwoman@paperconnection.com](mailto:paperwoman@paperconnection.com)

ペーパーコネクション・インターナショナルは、米国で、日本およびアジアの手漉きの紙を輸入販売しています。手漉きの技能、紙漉きに携わる方々、そしてそれをとりまく環境を支援しています。日本と米国にオフィスを構えて20年以上、アーティストの作品にふさわしい紙を探すパートナーとして信頼を得ています。



# ホルベイン工業株式会社

📍 日本

👤 高木 弘 / 東京営業所長

🌐 <http://www.holbein-works.co.jp>

✉ [t-gyomu@holbein-works.co.jp](mailto:t-gyomu@holbein-works.co.jp)

---

**創**業は1900年で、現在の会社は1946年10月11日に、  
関西の東大阪市に設立しました。

社名の由来は、洋画家の「ハンス・ホルバイン」から取っています。

製造している絵具は、油絵具・水彩絵具・アクリル絵具・パステル・色鉛筆と色材に関わるものを網羅しています。

創業者の清原定謙は、日本製油絵具をヨーロッパの作家に使ってもらうことを夢見て社業に励みました。

2008年に、東京藝術大学との産学協同で画期的な油絵具「油一 / YUICHI」を創り出し、その技術を応用した高級油絵具「ヴェルネ」を発売しました。

また、水に溶ける油絵具「DUO」や本格的なアクリル絵具「アクリリックカラー ヘビーボディー」など時代に合わせた製品作りを続けています。

---

  
HOLBEIN WORKS, LTD.